

平成 28 年度 事業報告書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 子ども全国ネット

1 事業の成果

子どもと放射能をめぐる日本の状況は、原発事故から 5 年を経て、ますます悪化の一途をたどっている。本年度末をもって、避難者の住宅支援打切りは強行された。放射能問題に対する一般市民の関心の低下は加速し、その一方で、孤立した母親や避難者の不安にさいなまれた状況がある。

その中で、情報提供を中心に、問題解決の土台にあたる事業に取り組んできた 1 年だった。まず、「ほうしゃのう きほんのき」のサイト・冊子の完成がある。これは 3000 部を完売し増刷。リピーターが多いことも評価できる。また、従来の情報ブログの形を、継続可能なものに変更し、ボランティアにも参加してもらいつつ、メルマガを定期的に（基本週 1 回）発行できる形にできた。(5) 5 周年にあたるイベントや学びカフェでは、新たな切り口を模索しながら取り組んだ。助成金がなかったため回数は減ったが、今後求められる方向性を見出す一助になったのではと思う。(1) 情報発信協力を行った「東日本土壌ベクレル測定プロジェクト」は測定数が確保でき、マップ完成にこぎ着けた。(3)

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
① 人材交流事業	月 1 回、運営や関連情報のシェアのための定例のミーティングを設けた。5 周年イベントおよび学びカフェでは、「子宮頸がんワクチンの被害」「教育」という新たな切り口で放射能問題を話し合った。	定例 MTG(計 11 回)、5 周年イベント(7/10)、学びカフェ(11/27)	事務局千代田区内会場	事務局 3、運営スタッフ 10、保育ボランティア 1	延べ 130 人	457
② 情報ネットワーク化事業	登録団体代表者メーリングリストの運営管理。Facebook グループ(情報掲示板、子ども・被災者支援法)の運営管理。	常時	事務局各拠点	事務局 2	300 人	0
③ 協力連携事業	「東日本土壌ベクレル測定プロジェクト」、「関東子ども健康調査基金」、「うけいれ全国」、「3・11 甲状腺がん子ども基金」などの情報発信協力に取り組む。	総会やイベント等の会合に参加のほか、適宜ミーティング。随時。	事務局各団体事務所(茨城、東京)。	事務局 3	300 人	15
⑤ 広報啓発事業	情報ブログ、SNS、メルマガを連携させて稼働。現在、情報ブログは毎月 4 万ビュー、Facebook ページの購読者 4200 人(月に 10 人前後増)、Twitter のフォロワー 6800 人(月に 15 人前後増)、メルマガ登録 1650 人。「きほんのき」サイト公開および冊子頒布。	BOT による twitter 発信は毎日。情報ブログのニュースアップ、SNS 発信も 1~2 日ごと。「きほんのき」サイトオープン 7 月。頒布は 7~3 月。	事務局	事務局 3、業務委託 3 ボランティア 1	8000 人	861